

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り

第32号

認定非営利活動法人 森林の風
会長 瀧口邦夫 / 平成30年6月発行



ドローン活用中！森林の風の活動拠点「まなびの森」

※写真 左道路側が「まなびの森」、入口

第32号 ラインナップ



- ・ 挨拶「まちのきこり人育成講座を終えて」————— ②
- ・ 2018年度 まちのきこり人育成講座 レポート ——— ②③
- ・ <里山の雑学>
「水の目林」、「水持林」、「水根林」は、どのような林だろうか？ ④⑤
- ・ 平成30年度 事業計画 ————— ⑥⑦
- ・ 森林の風 チャレンジ ————— ⑧
- ・ 森林の風現在の状況 ————— ⑧

森林施業 認定NPO法人



連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
菰野事業所 / 〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7045-82

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

平成30年3月24日(土)に平成30年度通常総会を開催しました。
議案につきまして平成30年度事業計画及び予算計画について満場一致で可決されました。

平成30年度 事業計画

認定NPO法人森林の風

1. 活動方針

- ①安全作業を第一に、「学び」、「考え」そして「実践する」姿勢をもって、森に優しい森林施業を進める。
- ②持続可能な組織にするため、会員の確保・育成に努めると共に、活動拠点の整備に努める。

2. 事業計画 ◎印は寄付金を充当する事業

事業名	事業計画	上段:地区全体概要 下段:29年度事業計画	会員 延活動人数	受益者 延参加者数
1. 人工林総合施業				
◎ 向井F1	●亀山市加太向井9.4ha(鈴鹿森林組合所有林)。2005年～本田技研㈱の協力により、間伐、歩道作り、定点観測、ホンダの森林保全活動の場所として活用してきたが、28年度をもって本田技研㈱は撤退した。 ●29年度からは独自の管理林としたが、活用方法が見い出せていない。30年度は各種団体の森林環境教育の場とするなど活用方法を模索する。		20	30
エイチワンの森	●企業の森(㈱エイチワン)。亀山市三寺町0.81ha(堤氏所有)。平成26年11月～31年10月。 ●現活動地の整備が進んだため、新たな活動地を選定追加し、その林内や歩道整備を進めると共に、年2回(5月、10月)の森林保全活動イベントを行う。		70	120
三重県の森	●平成23年12月に①ヒノキの森及び生産の森の間伐②枯損木の処理③森林学校の開催について「三重県民の森管理に関する協定書」を締結。 ●枯損木の処理、雑木林の笹刈・除伐、年1回の間伐体験イベントの指導を行う。		20	20
リクシルの森	●企業の森(㈱リクシル)。伊賀市上阿波2.76(ヒノキ林2ha、植栽地0.76ha)。 平成27年4月～32年3月。 ●ヒノキ林の間伐、枝打ち。植栽地0.76haの管理。年2回の森林保全活動イベント及びその準備を行う。また、鹿害対策テスト林(パッチデフェンス)として活用し、データ採取する。		80	150
コメダの森	●企業の森(㈱コメダ)。菟野町千草6ha(スギ、ヒノキ林)。平成29年10月～34年3月。 ●散策路整備、森林整備(主として間伐)、及び年1回の植樹イベントとその準備を行う。		120	30
私有林 森林施行	●活動余力が生ずれば後日調整する。		0	0
森林組合協同事業	●森林組合からの要請に応じて対応する。		10	0

2. 里山再生

こもれびの森	●企業の森(NTN(株))。桑名市多度山4.5ha、第1期平成22年11月～27年3月でサクラ、モミジ1,000本植樹した。27年度から2期目(平成27年4月～32年3月)。 ●過年度植樹苗の保育、歩道の補修、間伐、年1回(3月)の森林保全活動イベントを行う。		70	50
憩いの杜	●企業の森(TSテック(株))。桑名市茅ヶ崎2.9ha。第1期平成24年11月～29年3月。 第2期29年4月～34年3月。 ●年数回林内整理、歩道補修、年1回(11月)森林保全活動イベントを行う。		60	100
TOYOTIRES 緑のつながり・三重	●企業の森(東洋ゴム工業(株))。東員町城山5.27ha、平成26年10月～31年9月 ●年数回の林内整備と年2回森林保全活動イベントを行う。		100	80
ブレンディの森	●企業の森(AGF(株))。平成26年10月～31年9月。亀山市関町沓掛2.56haの雑木林に加え平成30年1月に10.66haの人工林を追加契約。さらに今後第2段階として12.5haの人工林の追加契約が予定されている。 ●年5回の森林保全活動(歩道作り、植樹、間伐体験など)イベント及びその準備を行う他、追加契約10.66ha内の歩道整備及び除伐等林内清掃を行う。		150	300
ホンダの森	●企業の森(本田技研(株))。亀山市関町3ha(大滝県行造林地)、平成29年4月～34年3月。 ●今年度からの新規地区で、年数回の林内整備と年2回森林保全活動イベントを行う。		70	80
アカガシの森再生	●菟野町からの受託。平成28年度にパッチデフェンスを4基設置し、除伐、アカガシの植栽を行った。 ●パッチデフェンス周辺の除伐、パッチデフェンス内の植生について定期的に経過観察を行う。		30	0

JAバンクの森	●企業の森(三重県信用農業協同組合連合会)。菟野町千草1ha(千草財産管理組合)。平成29年11月～34年10月。 ●平成30年10月までに1haの除伐を行う。(29年10月にJAバンク職員とその家族による森林保全活動イベントを行い、パッチデフェンス2基の設置、アカガシ、ミツマタ、シャクナゲの植樹を行った。)その後は下刈り等活動範囲の維持管理を行う。	30	0
ふれあいの森	●企業の森(ホンダロジステックス(株))。菟野町千草2ha(千草財産管理組合)。平成30年3月～32年3月。 ●30年度は概ね2年分の林内整備(間伐、除伐、歩道作り、チップ処理など)を行うと共に、年2回(6月、11月)の森林保全活動(歩道補修、植樹、間伐体験など)を行う。	120	50
私有林整備	●西山町0.41ha草刈、奥田園0.24ha管理、南条園0.12ha草刈、菟野富士植樹木の管理。	70	0

3. 竹林整備			
◎下大久保	●鈴鹿市下大久保町自治会所有1.70haの竹林について自治会と契約。 第1期平成23年8月～29年8月を終え、第2期平成29年9月～35年8月の6年間で更新契約。 ●竹林の整備を行うと共に、竹ポット用材を確保する。	30	0

4. 森林施業基礎講習			
◎まちのきこり人育成講座	●基幹事業の1つで平成18年から始め29年度までに12回開催、181名が受講している。(29年度は14名受講) ●4～6月に7日間の日程で開催する。人材発掘のための講座(フィールド見学会等)を検討する。	60	80
◎レベルアップ研修(施業実技講習)	●会員等の知識・技術のレベルアップを目的に年5回程度開催する。半日のミニ勉強会も予定する。	100	20
出張まちのきこり人育成講座	●平成26年度から亀山市において開催しており、30年度も亀山市において2日間の講座を行う。	10	12

5. 森林活動体験研修会			
◎まなびの森	●菟野町江野0.4ha、平成21年活動開始、三重銀行協働。 ●年数回三重銀行有志と共にフィールド管理すると共に、工作教室イベントを行う。又、道具類整備、資機材・薪・苗木・キノコ類の保管、活動全般の準備作業の場として活用する。又、まなびの森整備計画に基づき、車両保管庫、育苗ハウス、丘展望台等の整備を順次進める。	100	50
◎御在所岳GOGO植樹	●鈴鹿国定公園制定50周年を記念し5,500本の植樹を目指し、平成24年から始め平成28年度までに1,820本、29年度に200本の植樹を行った。中部電力の植樹は29年度で一旦終了。 ●平成30年7月22日の鈴鹿国定公園指定50周年を記念して行われる、御在所ロープウェイ(株)主催の植樹イベントに協力する。その他三重銀行の植樹イベントを行う。	40	40
◎学校等森林活動体験	●亀山市の環境教育:昨年に引き続き、木工教室、きのこづくり体験の2回実施。 ●常盤西小学校2回(裏山整備及び授業)。三重県関係研修会2回。	60	350
◎ナラ枯れ等調査研究	●28年度からの独自研究。三重県民の森において、ナラ枯れ再生研究調査のため、2基のパッチデフェンス内で木炭による土壌中性化、及び追跡調査を行っている。 ●引き続き、PH値や植生の調査を行う。	10	0
◎新たな技術の確立	●29年度に「植樹木の成長を促すための土壌分析」キットを購入整備した。第1ステップとして菟野富士周辺におけるサクラ、アカガシ、シャクナゲ等に対する植樹地の適性評価から始める。 ●29年度にドローンを購入整備した。第1ステップとして菟野富士周辺の整備進捗状況を空撮管理する。	30	0
◎イベントの参加	●鈴鹿川海山交流会2回(5月、7月)	10	50

6. 間伐材の有効利用			
広葉樹の薪への加工・販売	●30m ³ 収納できる薪小屋と、22t薪割り機が配備されている。年15～20?の薪を加工、販売する。	30	
QRコード樹木版	●林業家、製材業とタイアップし、広葉樹の有効活用として平成27年度から運用開始。運用拡大を図る。	20	
◎竹ポットによる育苗	●29年度末で、シャクナゲ500鉢、御在所苗700鉢、その他杉・ヒノキ・コナラ・モミジなど200鉢育苗している。 ●平成30年度は新たに御在所苗・ミズナラを中心に300鉢、種子採取、育苗する。	30	

7. 管理事業			
◎会報発行	●平成23年9月に第1号を発行し、平成29年度までに31号発行している。(29年度は3回発行) ●平成30年度は3回発行する。	20	
その他管理事業	●年2回総会、理事会、チーム打合会の開催他、書類作成・整理する。 また、活動拠点(まなびの森)の整備を進める。	180	

計 1,750 1,612

*参考:会員の延べ活動参加人数の実績(過去5年間)

H25	H26	H27	H28	H29
1,570人	1,560人	1,700人	1,450人	1,652人

チャレンジ Challenge 森林環境保全への“森林の風”のチャレンジ

近年の、開発のための伐採や発電燃料の調達伐採など従来の循環型の林業が遠くなっているように感じています。会として循環型の森林保全は重要なテーマで、多くの林業家から学んだ事にチャレンジしています。

*8月5日には、「森林の風」チャレンジ体験会を開催予定です。

チャレンジ1 パッチデフェンスと土壌調査

地球温暖化や酸性雨の影響をどの程度受けているか？活動地における土壌調査を進めています。パッチデフェンス内の植生変化、獣害対策も兼ねて調査します。今年も4張追加予定です。



チャレンジ2 ドローンの森林調査

上空からの写真撮影でパッチデフェンス(40張り)での植生調査を始めました。今後、ドローンの有効活用の範囲を広げる環境を作ります。

チャレンジ3 林内造材と有用材の活用

森林施業で、伐採した有用広葉樹の利用を進めるために大型チェーンソーにて林内造材を進めます。(大型チェーンソーは、活用できる材は搬出して利用します。“ろうきんNPO 寄付システム”の寄付金で購入)



チャレンジ4 森林環境教育のツール。精油抽出

有用広葉樹で森林環境教育に活用できる精油抽出に挑戦の準備中です。小径木の樹木も有効に活用できると考えています。森林保全の重要性のひとつが伝わればと。

チャレンジ5 森林環境保全体験ツアー

三重県菰野町菰富士周辺に企業の森を中心に森林整備を進めています。林業体験ツアーを検討しています。(伐採、木のぼり、植樹、年輪調べ、葉樹調査などを体験。)森の中で楽しい、面白い、を体験してもらいます。また、この2つの行事は、“森林の風”が支援します。



チャレンジ6 地域苗木の育成(御在所岳周辺)

国定公園生態系維持回復事業の認定団体として、種子を採取して発芽、育成を進めています。この苗木は、2018年7月22日の鈴鹿国定公園指定50周年植樹祭及び2018年県民植樹祭で使用します。

*チャレンジ1, 2は”株式会社かんぼ生命保険”の寄付を活用しています。

森林の風～最新データ～

2018年6月30日現在

◆取組事業総数	31
◆活動フィールド	人工林 5
	里山整備 8
	竹林 1
◆フィールド総計	約52ha

2018年度4月～6月の累計

◆活動日数	43日
◆会員延べ参加数	434人
◆延べ受益者数	660人

設立来累計 ◆植樹数 約10,900本

森を守り育てる活動にご協力ください

寄付を募集!!

寄付額	個人 1口 3,000円より 法人 1口10,000円より
特典	年3回発行の機関紙「もりのかぜだより」 や各種案内を送付させていただきます

*同封の郵便局お振込用紙をご利用ください
加入社名：特定非営利法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060
通信欄に、おところ・おなまえ
・ご連絡先電話番号をご記入ください

